

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○6月25日～

米中貿易摩擦の行方が少し心配な状況です。

また、日本と欧州に対しての自動車関税などの影響も気になります。

朝鮮半島の非核化は現実問題として解決できるのか不安も多く、経済より政治的な動きでマーケットが動く可能性があります。

日経平均、NYダウなどが調整入りとなればリスク回避的な動きが加速するかもしれないので、株価動向にも注意しておきたいです。

<ドル/円>

ドル/円は109.5円を割り込むと108円あたりまで下げてくるリスクがあります。

上値は111円あたりで売り圧力が強く、高値での買いはリスク高め。

週足の抵抗が111円あたりにあるため高値圏では売り戦略も検討したいです。

<気になるクロス円>

ユーロは、政治不安と米国との貿易摩擦などから中期的には下落リスクがありそうです。ただし、ユーロ/ドルが1.15を底に上昇に転じればユーロ/円も130円あたりまでの上昇はありそうです。

豪ドル/円は3月以降、81-84円程度のレンジが続いています。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

今週は、日本では鉱工業生産などがあります。

米国では新築住宅販売件数、耐久財受注、個人消費、シカゴ購買部協会景気指数、ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではドイツでIFO景況感指数、ドイツとユーロ圏で消費者物価指数などがあります。

ほかには、ニュージーランドで政策金利、中国で製造業PMIの発表などがあります。